

2025

社会・環境レポート



双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.

CONTENTS

はじめに

○ はじめに	1
○ S D G s （持続可能な開発目標）への対応	2
○ 社会性報告 人間性尊重	4
快適な職場環境、人材育成、 C S Rへの取り組み	5
地域社会協調、社会貢献活動の 事例紹介	6
快適な職場環境の事例紹介 （安全衛生）	9
○ 環境報告 環境マネジメントシステム	10
カーボンニュートラルへ向けた 取り組み	11
○ 環境データ	12

本レポートは、双信電機グループのサステナビリティに対する考え方や取り組み内容を紹介することで、ステークホルダーの皆さまによりいっそう当社グループを知っていただく目的で作成しています。

活動の重要な要素である「社会性」と「環境保全」について、具体的な取り組み事例や定量的なデータ開示により活動実績を紹介しています。

□ 対象期間

活動実績：2024年度（1月～12月）

データ集：2020年度～2024年度

□ 対象範囲

双信電機株式会社

双信デバイス株式会社

双信パワーテック株式会社

立信電子株式会社

双信エレクトロニクスマレーシア

SDGs（持続可能な開発目標）への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

分類		目標	双信電機グループの提供価値	取組み事例
事業活動		 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	◎ 電力・通信品質の向上等、効率的なエネルギー活用にご貢献できるソリューションを創出していきます。 ◎ 「ノイズの無い世界を作る」を達成するために各事業本部のコア技術の強化を推進していきます。	○再生可能エネルギーを利用した発電設備にも私達が提供する電子部品は活躍しています。そしてこれからも次世代に必要な電気エネルギーの効率化にご貢献できる新製品を提供し続けます。
		 産業と技術革新の 基盤をつくろう		
(ESG) 社会的 目標	(E)環境	 海の豊かさを守ろう	◎ 3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進、資源循環により廃棄物ゼロ(ゼロエミッション)を達成することで間接的に森林保護・砂漠化対策・生物多様性損失防止に寄与します。	○製品加工に関する新プロセス導入により水を使用しない工法に変更しています。 ○工場から排出される水質の測定を行い環境の維持に取り組んでいます。
		 陸の豊かさも守ろう		○ペーパーレスを推進し、森林資源保護にご貢献しています。
		 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	◎ 再生可能エネルギーの割合を増やし、地球環境の保全にご貢献します。	○地域発電事業(佐久市メガソーラー発電事業)に参画し地域のグリーンエネルギー供給にご貢献しています。 ○浅間工場では太陽光発電を導入し、余剰分は電力会社へ売電しています。
		 つくる責任 つかう責任	◎ 高品質・長寿命な電子部品の安定供給、環境上適正な化学物質の利用、資源循環を原則とした廃棄物削減に努めます。	○高度な設計・プロセス技術によりライフサイクルの長い製品を提供しています。 ○当社グループで扱う全部材の含有化学物質管理を通して、顧客要求、法令を順守し責任ある事業活動を行っています。
		 気候変動に 具体的な対策を	◎ 温室効果ガス削減活動を推進します。	○再生可能エネルギーの導入によりCO ₂ 削減に取り組んでいます。(太陽光発電導入の他、購入電力の一部をグリーン電力化) ○生産設備導入時には環境負荷物質の使用有無、省エネ効果を評価する仕組みを導入しています。

SDGs（持続可能な開発目標）への対応

双信電機グループは、国連が採択した「持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）」を指標に事業活動を通じて幅広く社会における課題の解決に貢献することが重要な社会的責任であると考えます。

双信電機グループが対応し得る項目について、提供価値を具体化し活動を行っています。

分類	目標	双信電機グループの提供価値	取組み事例
(ESG) 社会的目標	 1 貧困をなくそう 貧困をなくそう	◎ 積極的に社会貢献活動を実施しています。	○ 地域社会への貢献として、フードドライブや寄付などの支援活動を行っています。
	 3 すべての人に健康と福祉を すべての人に健康と福祉を	◎ 従業員や地域住民などへの健康や福祉の提供を積極的に推進します。 ◎ 社会貢献活動を通して、「心と体の健康作り」、「地域共生」、「奉仕の精神」を育みます。	○ 産業保健体制の充実により、従業員の心と体の健康を守ります。 ○ 近隣の保育園に訪問しプレゼントを贈る活動を行っています。 ○ ペットボトルキャップ回収活動を通じて発展途上国へポリオワクチンを寄付しています。
	 4 質の高い教育をみんなに 質の高い教育をみんなに	◎ 全ての人に学ぶ権利、成長する権利を平等に提供します。	○ 企業内奨学金給付制度（従業員の子息、入社予定者）により学びを支援しています。 ○ 従業員に対して職群別、職能・業種別の通信教育プログラムを整備し学ぶ環境を提供しています。 ○ 地域の学生に対して出張授業や製造体験学習を行い学びの機会を提供しています。
	 5 ジェンダー平等を實現しよう ジェンダー平等を實現しよう	◎ 性別に関係なく誰もが働き続け、活躍出来る環境を実現します。	○ 当社の人事制度は性別の違いによる不平等はありません。
	 8 働きがいも経済成長も 働きがいも経済成長も	◎ 個性と多様性を尊重することで、社員の働き甲斐のある安心・安全な職場を提供し、経済成長に寄与します。	○ 仕事と家庭の両立、働く場所を限定したい等、それぞれの価値観や多様性を尊重した柔軟な就労環境を提供しています。
	 11 住み続けられるまちづくりを 住み続けられるまちづくりを	◎ 地域との繋がりを大切に社会・地域貢献活動を積極的に推進しています。	○ 事業所周辺の清掃活動や花壇整備、あいさつ運動等を通じて地域社会との繋がりを大切にしています。
	 10 人や国の不平等をなくそう 人や国の不平等をなくそう	◎ 国籍、性別を問わず公平な採用活動を行うと共に、従業員の権利が守られる環境を維持して行きます。	○ 人物重視の採用活動を基本とし、国籍や性別による不平等な採用はしていません。 ○ 各事業所毎に意見を投函出来る「ご意見箱」があり、気軽に経営層への提言が可能です。
	 16 平和と公正をすべての人に 平和と公正をすべての人に	◎ 各国、地域の法令やルールを守り、国際間の取決めに尊重してコンプライアンスを徹底します。	○ 人権に配慮したサプライヤー管理を順守しております。 ○ 原産地の調査を行い、紛争地域からの鉱物調達はしません。
(G) ガバナンス			

社会性報告

人間性尊重

◆人権尊重

人種、国籍、性別、信条、性格、障がいなどの個性を尊重し、従業員一人ひとりが明るくいいきいきと働くことができる、そして平等に教育を受け成長を実感できる企業であり続けます。

◆コンプライアンス強化

顧問弁護士によるコンプライアンス研修や内部通報の受理により、ルールへの順守や職場における差別、ハラスメントなどの人権に反する行為の発生を防止する活動を行っています。

また、情報セキュリティ研修、貿易管理研修、競争法研修などコンプライアンス強化のために教育を実施しています。

◆雇用・採用に関する基本方針

双信電機グループでは事業の中長期成長を見据えた人員計画を立て、新卒やキャリア人材の採用活動に努めています。また、外国人の採用促進など必要な能力・経験を持った人材の適正配置を進め、従業員の働き甲斐、働き易さを意識した活動を推進しています。

◆こころの健康づくり

双信電機グループでは「こころ」のケアを充実させるために産業医、顧問医、保健師、カウンセラー、産業保健スタッフが一致団結して、こころの健康づくりの活動に取り組んでいます。

また、長時間労働対策に関して、管理職への教育、残業時間の管理、定時間退社日の徹底などを実施しています。



社会性報告

快適な職場環境、人材育成、CSRへの取り組み

◆ワークライフバランスの向上

双信電機グループでは、仕事と育児の両立を目的として、産前産後休業・育児休業制度のほか、小学校1年生までの育児短時間勤務制度等の両立支援制度を導入しています。

また、リフレッシュ休暇、結婚休暇、人間ドック休暇（35歳以上）、1時間単位で取得できる年次有給休暇など、心身の健康に配慮し、ワークライフバランスを向上させるための制度を整えています。

◆教育体制の充実

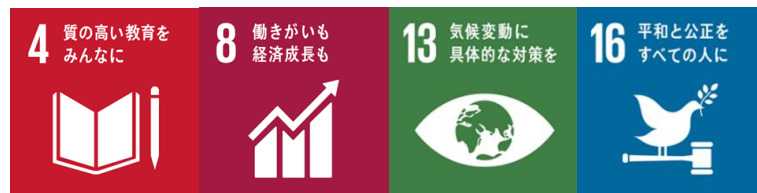
双信電機グループでは階層別教育と職能別教育に加え、通信教育による自己研鑽ができます。

階層別教育は、社内の資格等級で必要となるスキルの教育、職能別教育は主にOJTでの教育を行っています。通信教育は全てのコースが半額会社負担で受講ができ、業務に役立つコースは全額会社負担で受講することができます。優秀修了した方には図書カードをお渡ししています。

◆サプライチェーンにおけるCSR活動の取り組み

双信電機グループではサプライヤーに要請しているCSR：Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）活動として規制化学物質の管理、グリーン調達管理、紛争地域から鉱物の調達はしない取り組みなどを行っています。

今後はサプライチェーンの脱炭素化を実現するため、サプライヤーから購入した製品・サービス、輸送・配送のCO₂排出量の調査、削減活動に取り組んでいきます。



社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介

◆【浅間工場】

J R佐久平駅のウェルカムフラワー設置に協力



佐久市で毎年行われる「佐久バルーンフェスティバル」「佐久鯉まつり」の期間中に県内外からの大勢の観光客がお越しになることから、佐久市観光協会と佐久平総合技術高等学校が佐久平駅に「ウェルカムフラワー」を毎年設置しており、当社も協賛しています。



◆【千曲工場】

環境美化活動（花植え）



環境美化活動として千曲サイト周辺では毎年、県道沿い歩道にプランターを設置しています。花の苗は長野県のアダプトシステムより寄贈頂いています。



社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介

◆【立信電子】 企業団地周辺清掃活動



立信電子がある和田企業団地では半年に一度清掃活動が実施されており、毎回参加しています。



◆【本社】 定期献血活動



本社含め各拠点では定期的に献血活動を実施しています。



社会性報告

地域社会協調、社会貢献活動の事例紹介

◆【双信パワーテック】 双信電機杯バレーボール大会



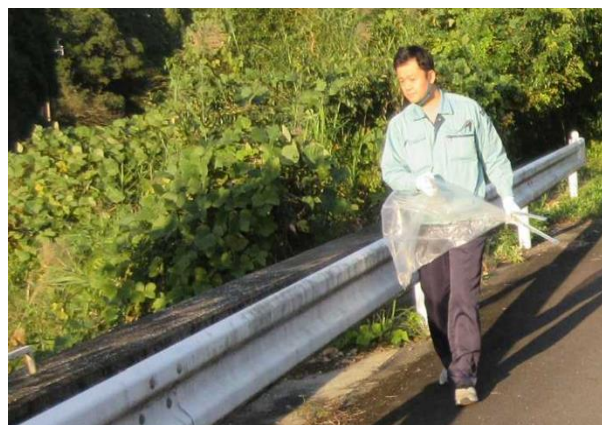
毎年地域貢献活動の一環として「双信電機杯バレーボール大会」を開催しています。



◆【双信デバイス】 環境美化活動（ゴミ拾い）



環境美化活動として工場周辺近隣地域のゴミ拾いを実施しています。



社会性報告

快適な職場環境の事例紹介（安全衛生）



防災訓練（千曲工場）

安全パトロール（浅間工場）

◆安全衛生活動

双信電機グループでは、従業員の安全及び健康を確保し、快適な作業環境を整備すると共に、業務災害ゼロを目指して安全衛生活動を積極的に展開しています。

主な活動として、これまで実施してきたリスクアセスメントによる重篤災害の未然防止活動、従業員への安全アンケートによる危険要因の抽出・是正等の活動などを実施しています。



ISO45001 : 2018 認証書

◆ISO45001 全拠点 認証取得

双信電機グループでは国内外全製造拠点と本社含む国内すべての営業拠点で「ISO45001 : 2018」の認証を取得しています。

マネジメントシステムを通じて、重篤災害を未然に防止するとともに、お客様の期待と信頼にお応えできるよう安全衛生活動に取り組んでいます。

◆ 環境方針

1. 法令・協定・顧客との取り決めおよび自主基準を順守する。
2. 環境目標を設定し、組織的・継続的な環境負荷低減活動を地域社会とともに推進する。
3. 環境に配慮した製品の開発・設計・製造販売を行う。
4. 環境汚染の予防処置と監視を行う。
5. 教育・啓発活動を進め、従業員および事業に関わる人々すべての役割・責任についての自覚高揚を図る。

◆ 環境保全活動の推進体制

環境保全に関する双信電機グループの方針・施策は、環境管理担当役員を委員長とする「環境委員会」で決定します。ここで決定した方針・施策は、各サイトの拠点長、環境管理責任者を通じて全社に展開します。

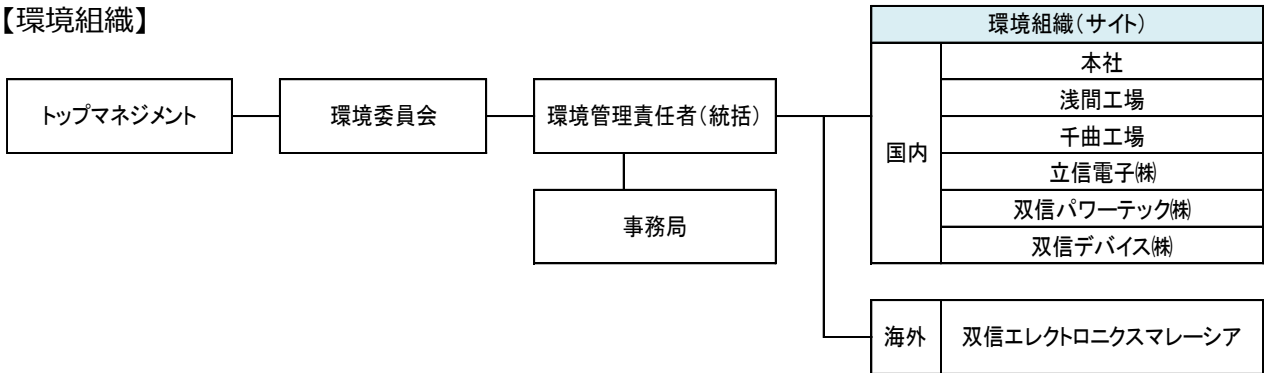
環境組織の活動として、半期ごとに開催される環境委員会の他、環境会議を毎月開催し、CO2排出量や産業廃棄物排出量などの目標に対する実績管理のほか環境に関する情報交換などを行い、環境保全活動を継続的に推進しています。

◆ ISO14001認証・環境監査

双信電機グループは、環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001：2015」の認証を取得しています。

マネジメントシステムの有効性や適合性の確認は、認証機関による外部審査、環境管理部門による環境査察、実行部門が行う内部環境監査を実施しています。

【環境組織】



環境報告

カーボンニュートラルへ向けた取り組み



◆再生エネルギー導入の取り組み

浅間工場では太陽光発電システムを導入しています。



◆高効率空調機の導入

2022年度までに国内製造4拠点の高効率空調機の導入が完了しています。



◆国内製造拠点の照明を全てLEDへ交換

2022年度までに国内製造4拠点の照明をLEDに交換しました。

国内・海外グループ合計

(t -CO2)

カテゴリ			2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
温室効果ガス（GHG） 排出量		Scope1	407	447	288	493	501
		Scope2	7,207	7,605	6,134	7,391	6,675
		Scope1,2合計	7,614	8,052	6,422	7,884	7,176

Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出(燃料の燃焼、工業プロセス、当社ではA重油、灯油、ガス、ガソリン)

Scope2：他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出（当社では購入した電気）

国内グループ合計

カテゴリ			単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
消費エネルギー	購入電力		kWh	15,627,893	16,675,699	12,998,468	14,657,275	14,312,563
	再生可能 エネルギー	太陽光発電	kWh	149,865	145,323	113,608	155,806	125,557
		グリーン電力購入量	kWh	-	-	942,125	1,387,544	1,690,199
	A重油		L	53,950	48,900	12,200	16,600	16,150
	灯油		L	24,216	23,655	8,323	20,734	18,874
	ガス（LPG）		kg	53,992	74,545	77,737	115,404	113,178
	ガソリン		L	10,722	9,515	8,961	15,735	24,130
水資源	水使用量		m³	19,463	19,833	18,623	19,298	14,987
廃棄物	総排出量		t	221	256	262	284	89
	売上高原単位		t/億円	2.8	2.6	2.8	3.0	1.1

※太陽光発電は浅間工場設置の太陽光発電使用量

※グリーン電力は双信デバイスで購入

海外グループ合計

カテゴリ			単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
消費エネルギー	購入電力		kWh	1,164,300	1,088,110	988,960	1,402,910	851,570
	再生可能 エネルギー	太陽光発電	kWh	-	-	-	-	-
		グリーン電力購入量	kWh	-	-	-	-	-
	A重油		L	-	-	-	-	-
	灯油		L	-	-	-	-	-
	ガス（LPG）		kg	980	868	714	588	1,050
	ガソリン		L	5,100	3,552	4,139	3,862	5,282



双信電機株式会社
SOSHIN ELECTRIC CO., LTD.
URL : <http://www.soshin.co.jp>

お問い合わせ先
ESG推進室
〒385-0011
長野県佐久市猿久保664-1
代表連絡先 TEL : 0267-67-4511

本レポートに対するご意見・ご感想をお寄せください。
Email : environment@soshin.co.jp